

平成28年度消防研究センターの一般公開

消防研究センター

東京都調布市の同じキャンパス内に位置する消防研究センター、消防大学校、日本消防検定協会及び一般財団法人消防防災科学センターの消防関係4機関が共同で、4月22日（金）に一般公開を開催しました。この一般公開は、例年、科学技術週間（4月18日の発明の日を含む週）に、日頃行っている研究開発や毎日の防火安全につながる体験コーナーを紹介しているものです。

本年度も、熊本地震への対応が続かなかではありましたが、25項目にわたる展示、うち9項目については燃焼実験や消防ロボットなどの実演を行い、地域の一般住民に加え、消防職員や防災関係企業など、517人の来訪者を迎えることができました。以下で、主な実演展示の様子を紹介します。

石油コンビナート施設などで大規模な火災・爆発事故が発生し、消防隊員が災害現場に近づけない等の場合を想定して、安全な場所からの情報収集、放水等が可能な

消防ロボットの試作機を展示しました（写真1）。

火災時において、感電や再出火の危険性がある太陽光発電システムの発電を抑制する装置の実演（写真2）を行いました。

ガレキや海水で立ち入りが困難な津波被害現場での消火・人命救助用消防車両の展示（写真3）を行いました。また、パンク対策を行ったタイヤを装備した水陸両用車の実演を行いました。

直径1mの容器を用い、重油を燃料として、燃える油が飛び散る燃焼現象（ボイルオーバー）を再現する実験（写真4）を行いました。

来年度も、平成29年4月の科学技術週間に合わせて、一般公開を開催する予定です。開催の詳細については、消防研究センターのホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）をご確認ください。



写真1 地上走行型の偵察ロボット（右）、
放水ロボットの走行機構部分（左奥）の展示



写真3 津波被害現場用の消防車両の実演

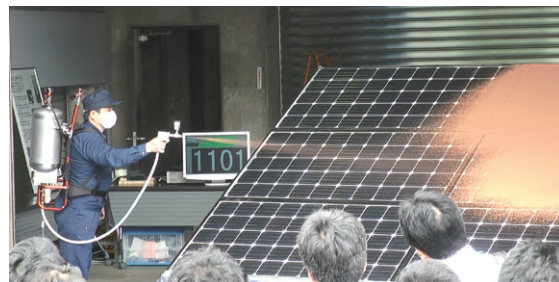


写真2 太陽光発電システムの発電抑制装置の実演



写真4 重油の燃焼性状実験

問い合わせ先

消防庁消防研究センター
TEL: 0422-44-8331（代表）